

豊かな未来に感動は無限大にある
Active Tomorrow

代表取締役社長 **大内茂正**

2011年(平成23年)3月11日の東日本大震災により被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

当社は1931年(昭和6年)にゴム添加剤の初の国産化を実現して以来、有機ゴム薬品分野での技術力をベースに抗菌剤、環境薬剤、医薬品原薬などのファインケミカルの各分野に独自の地歩を築き80年の歴史を歩んで参りました。

これもひとえに皆様方の厚きご支援の賜物であり、関係団体、特にゴム工業会の皆様方には永きにわたるご指導、ご支援を頂き、改めてありがたく感謝いたします。

当社はISO 9001に基づく品質保証システムにより、優れた品質で信頼される製品を提供し続けることを目指すとともに、医薬品分野でも原薬 GMP に対応した製造管理、品質管理システムを構築して参りました。また、3S(整理・整頓・清掃)と安全・環境面の地道な自主点検により、工場と地域の環境改善を図って参りましたが、今後も更なる信頼を頂けるよう品質保証面だけではなく、ISO 14001 に基づく安全・環境重視の体制のもと、環境との調和を目指し、危機管理、防災対策等も積極的に推進して参ります。

東日本大震災は当社にとっても従業員にとっても大変大きな影響がありました。完全な復興にはまだまだ時間が必要と思いますが「がんばろう 日本」「がんばろう ふくしま」を当社全社員の共通意識として連帯を強め、復興に向けて一步一步前進して参ります。

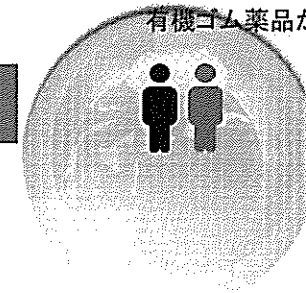
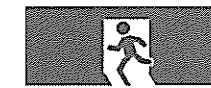
今後ともより一層のご指導とご鞭撻のほどお願いいたします。

大内新興化学工業株式会社 OUCHI SHINKO CHEMICAL INDUSTRIAL CO.,LTD

大内新興化学工業株式会社

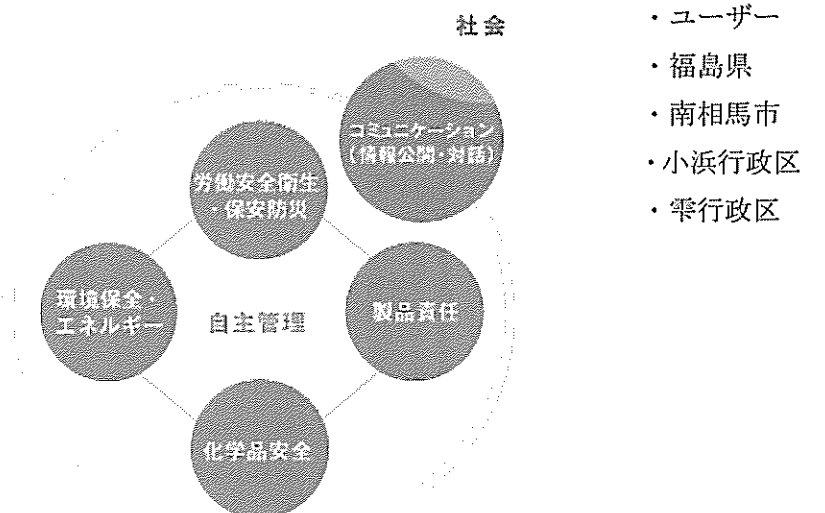
OUCHI SHINKO CHEMICAL INDUSTRIAL CO.,LTD

有機ゴム薬品から医原薬・ファインケミカルまで



レスポンシブル・ケアとは

化学工業界では、化学物質を扱うそれぞれの企業が化学物質の開発から製造、物流、使用、最終消費を経て廃棄・リサイクルに至る全ての過程において、自主的に「環境・安全・健康」を確保し、活動の成果を公表し社会との対話・コミュニケーションを行う活動を展開しています。



1- 方針3~4
2- 原町工場の製品4
3- 原町工場概要5
4- 大内新興化学工業(株)と原町工場の組織6
5- 災害・事故7
6- 安全衛生、環境管理体制7
7- 化学物質9
8- 水質汚濁防止10
9- 大気汚染防止11
10-騒音防止12
11-悪臭防止13
12-一般・産業廃棄物削減13~14
13-省エネルギー15

レポートの作成

本レポートは大内新興化学工業株式会社原町工場において報告された資料・内容を基に年度毎に作成することとし、このレポート作成後に発生した重要事項については、その都度別途資料を追加して報告することと致します。

作成にあたっては環境省の「環境報告ガイドライン 2012 年度版」を参考としています。

CSR(企業の社会的責任)については現在震災の復旧・復興を最優先としているため、地域貢献という意味では活動を行っていませんが地域に根ざした企業として積極的に近隣の方の採用を行っています。

BCP(事業継続計画)については現在本社にて骨子を作成中です。

対象とする範囲 大内新興化学工業株式会社原町工場の安全・品質・環境・廃棄物等に係る件

対象とする期間 平成 27 年 6 月 1 日から平成 28 年 5 月 31 日

一部 平成 26 年 6 月 1 日から平成 28 年 5 月 31 日

平成 28 年 6 月

作成者:大内新興化学工業株式会社原町工場業務部長 佐藤丈倫

13. 省エネルギー

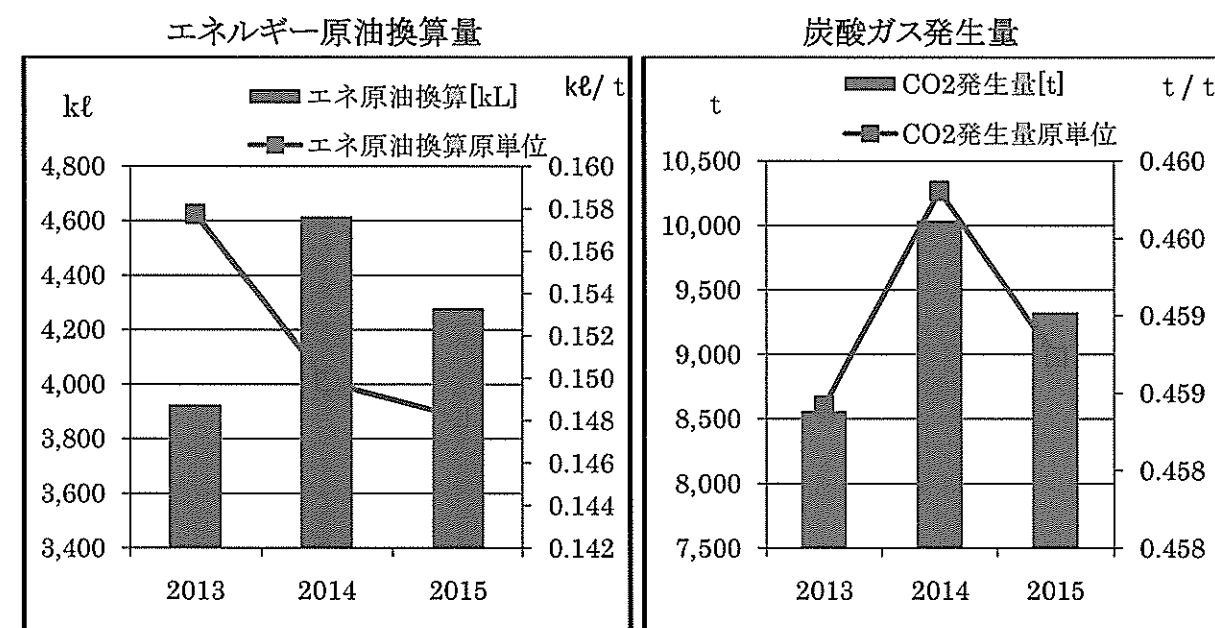
主要なエネルギーは重油と電力です。

特徴としては製品製造工程で多くの蒸気を使用するため当工場はA重油の使用量が大変多くなっています。

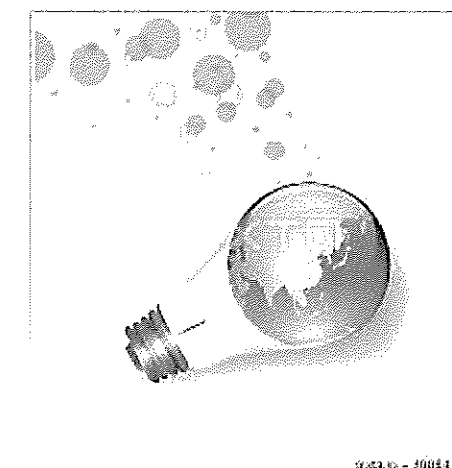
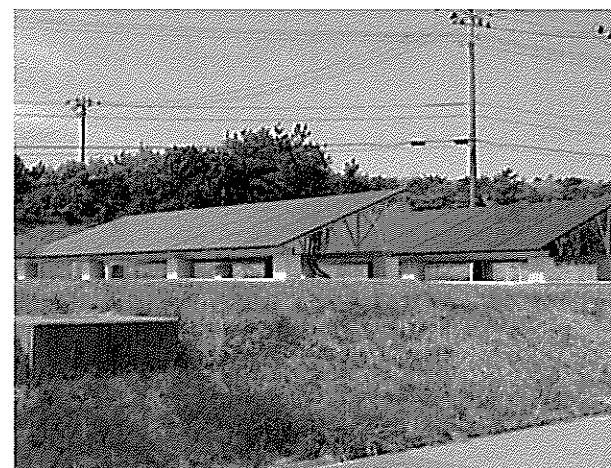
A重油使用量 2,454,4820/年

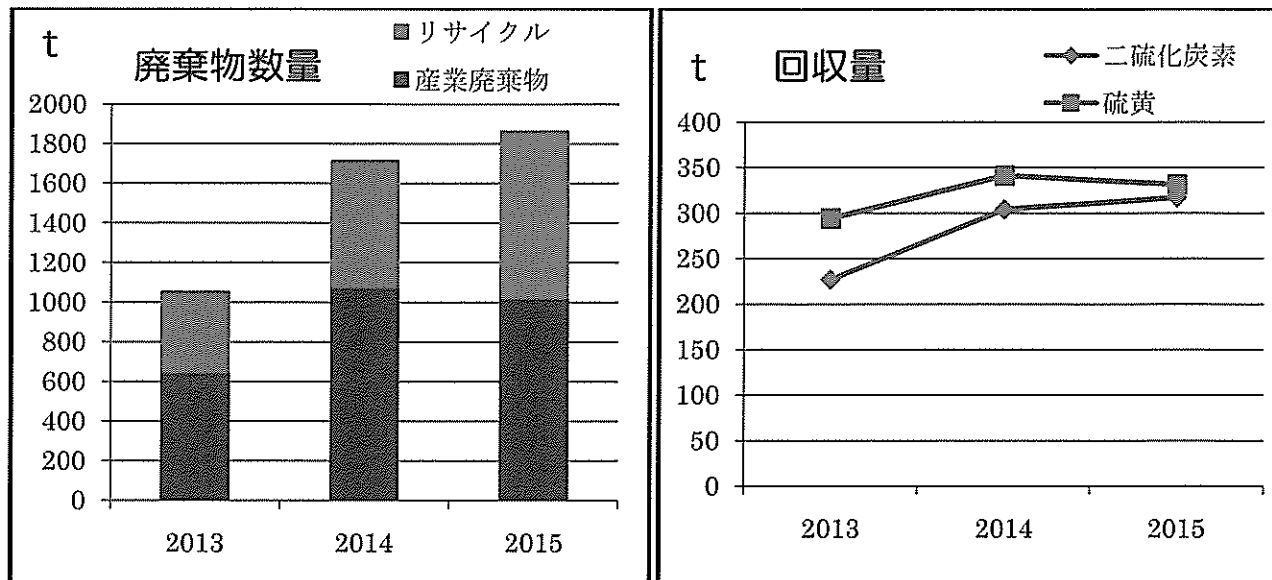
電気使用量 7,012,066kwh/年

場内でエネルギー管理委員会を開催し省エネルギーの実績報告と工場建物内の照明のLED化や太陽光発電の利用(厚生会館照明・エアコン、廃水処理場の一部施設)、排温水の熱利用、省エネタイプ設備への更新、インバーター装置や省エネベルト等を積極的に提案し導入を進めています。



太陽光発電





産業廃棄物

レジン	埋立 (福島市飯坂町地内他)
廃プラスチック (代替燃料不可品)	埋立 (いわき市遠野町地内)
製品・半製品等	焼却 (宮城県岩沼市下野郷地内他)
一般廃棄物	クリーン原町センター

リサイクル物

フェントン汚泥	焼成・セメント原料 還元煤焼・製鉄原料
廃プラスチック	RPF化 (固形燃料) 代替燃料
廃油	代替燃料
廃金属	売却によるリサイクル
木くず	代替燃料

1. 方針

◎経営理念

経営理念

- ・優れた品質で信頼される製品を提供する
- ・適正な利益を得て社業を発展させる
- ・社業を通じて人々の文化と福祉の向上に貢献する

◎品質保証・環境・安全に対する当社の取り組み (HP)

- ・工場、研究所の安全確保及び臭気防止対策を最優先課題として取り組み、年2回定期的に社長を監査チームのトップとして、各事業所の点検を行い、継続的改善に努めています。
- ・省エネルギー委員会活動、インバータ制御等の省エネルギー機器の導入によりエネルギー低減を図っています。
- ・生産活動により発生する排水・排ガスは、活性汚泥処理法、燃焼焼却処理及び化学処理等の処理技術を駆使し清浄化を図り、環境保全に努めています。

◎15-16年度 社長方針

基本方針

【震災をバネに強い会社にする】

大内新興化学工業株式会社 代表取締役社長 大内 茂正

◎15-16年度 工場長方針

基本方針: 「安全、環境、品質」のレベル向上を成し遂げ、
みんなで、新しい原町工場を築く。

- 指 針: 1. 現場、現物、現人を確認し、実行する。
2. 双方向のコミュニケーションで情報を共有する。
3. すぐ行動し、改善する。

職場指標: 安全で清潔な職場を保ち、
自己責任において確認の徹底を行う。

大内新興化学工業株式会社原町工場 取締役工場長 志賀 敏文

◎品質方針

当工場は有機ゴム薬品を主力製品とする少品種大量生産型工場であるが、当工場を取り巻く社会環境の変化に適切に対応すべく

- 顧客に信頼される品質の製品を安定的に供給します。
- 顧客要求事項や法的要求事項の順守は当然の事として、新たな顧客要求事項や法的要求事項の変化に対し、新技術や新製品の導入に積極的に取り組み、顧客満足の上を図ります。
さらに効果的な品質マネジメントシステムとするために
- 方針管理の展開により階層毎に品質目標を設定し業務に取り組み、達成度を定期的にレビューし目標達成に努めます。
- システムまたはプロセスを変更する場合は意図しない変化が生じない様、変更管理を確実に実施します。
- 全員参加により品質マネジメントシステムの有効性を継続的に改善して行きます。
- 品質方針が適切であるか、原則として毎年3月にレビューします。

◎環境方針

当工場は経営基本方針のもと、有機ゴム薬品等の製造を行なっていることを踏まえ、以下の具体的行動指針を策定し、環境活動を積極的に推進いたします。

◆ スローガン ◆

“後世に残そう 美しい海原と緑の環境”

◆ 行動指針 ◆

- 当工場は石油関連資源と電気、燃料等のエネルギーを使用しており、又、廃棄物も排出しています。これらを踏まえて、省資源、省エネルギー、廃棄物の削減、リサイクルなど、全員参加で継続的な環境改善と汚染の未然防止に努めます。
- 環境に係わる法規、規則、他の公的基準の遵守はもとより自主管理基準を設定し維持します。
- 本方針を達成するために、環境目的及び目標を設定し、計画的に行動します。方針は、変化する状況及び情報に対応し、定期的に見直します。
- 本方針を全従業員に周知します。又、全従業員がこれを理解し、実践できるよう教育・啓発活動を推進します。
- 本方針の開示を社外から要求された際は、配付又は公開します。

2. 原町工場の製品

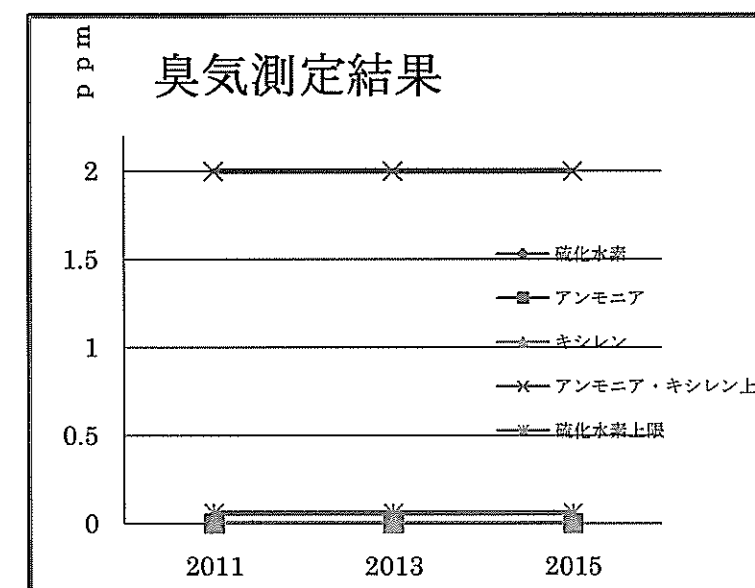
チアゾール系有機ゴム薬品を中心とした中間体を製造

- ◆有機ゴム薬品 加硫促進剤・老化防止剤他
- ◆化成品・工業薬品
- ◆硫化水素
- ◆潤滑油添加剤

タイヤを中心としたゴム製品やプラスチックに混ぜ合わせる添加剤を中心に製造しています。

11. 悪臭防止

悪臭防止法の特定悪臭物質としてアンモニア、硫化水素、キシレンを取り扱っており、設備・工程の密閉化、スクラバー(排ガスの洗浄)、漏えい警報設備等で外部への流出を防止しています。



測定点:工場敷地境界

規制物質以外の臭気についても発生の減少・対策の実施並びにモニタリングを実施しています。万が一臭気を感じた場合は社内関係部署へ通報し対応する事としています。

12. 一般・産業廃棄物の削減

当社では生産活動に伴い多量の産業廃棄物が発生します。生産活動で使用した原料(二硫化炭素や硫黄)の回収再利用や汚泥発生を抑える研究開発を行っています。

また、外部へ委託した産業廃棄物はリサイクル可能な委託先を選定し最終処分量の削減を行っています。2015年度の全廃棄物数量1,864tのうちリサイクル実績は810トン/年で43.4%となりました。(有価物売却を除く)

特別管理産業廃棄物管理責任者

北村智明(安全環境課技師補)

用語の説明

レジン 樹脂状廃棄物【産業廃棄物(埋立)】

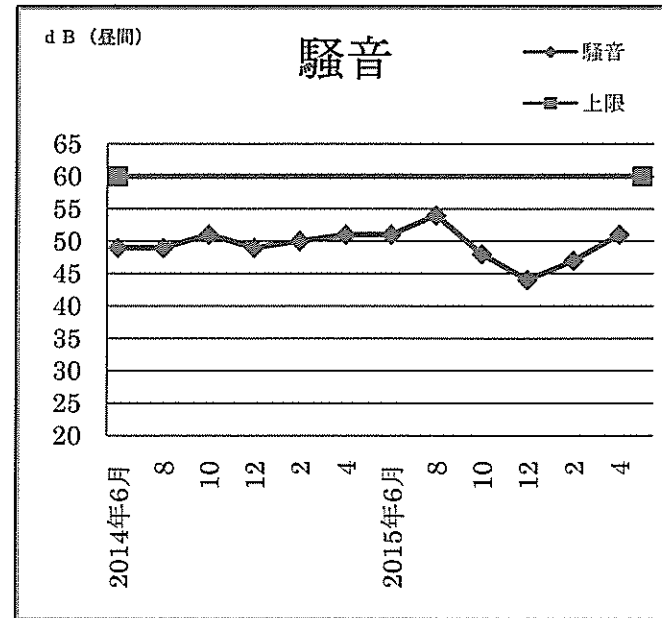
フェントン汚泥 無機汚泥(リサイクル物)

特別管理産業廃棄物 爆発性、毒性、感染性その他人の健康又は生活環境に係る被害を生ずるおそれがある性状を有する廃棄物

当社該当物質 : 低濃度PCB (処分場:いわき市錦町地内)

10. 騒音防止

当工場では多数の大型モーターや粉砕機等、騒音・振動発生機器が有ります。これらの設備は騒音、振動値の少ない機器を選定し、専用建屋内で運転しています。振動規制法については対象区域外の為、未測定ですが異常があった場合は社内で適宜対応しています。



測定点：工場敷地境界

福島県生活環境の保全等に関する条例による規制

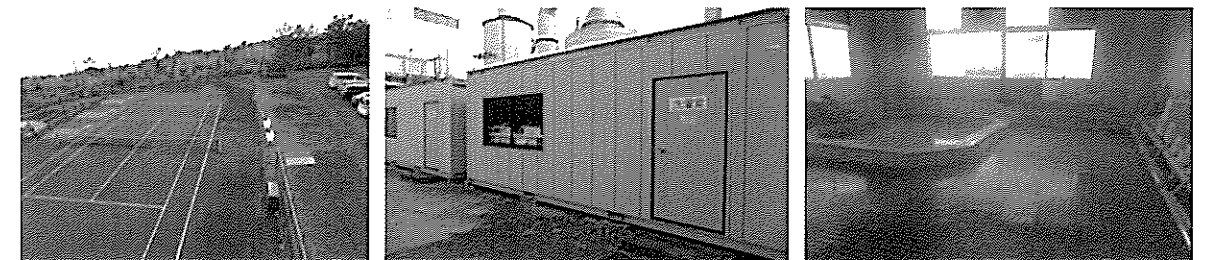
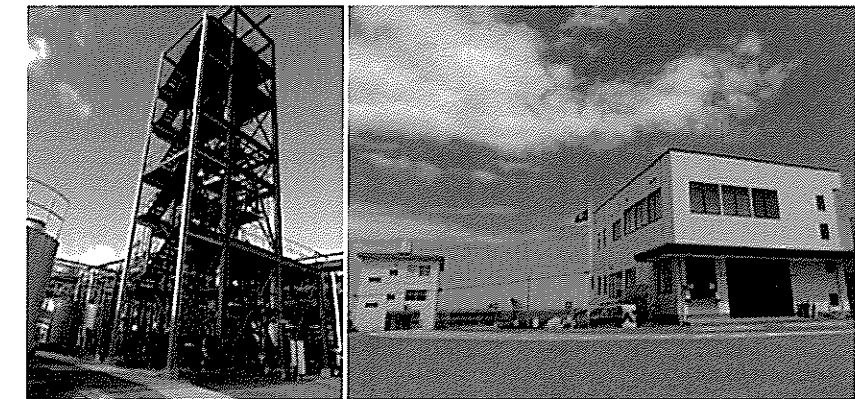
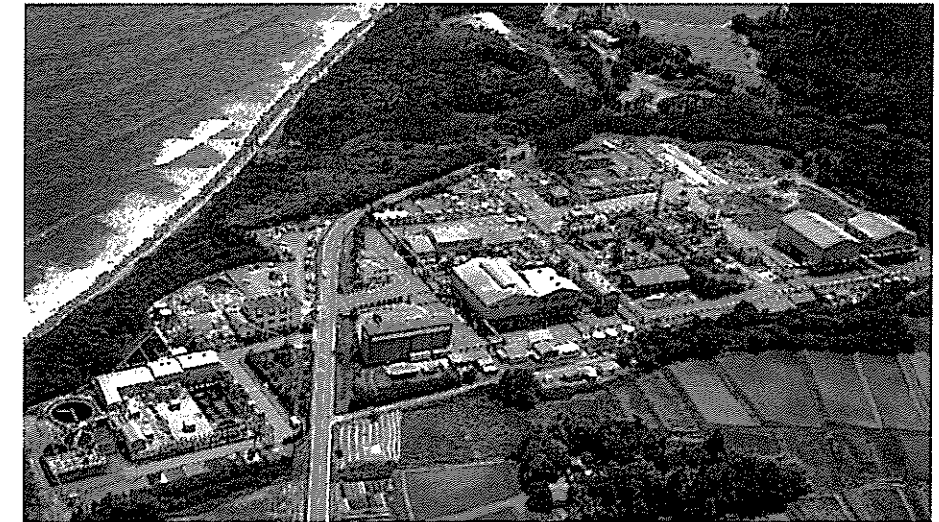
第4種区域(工業地域及びこれに相当する地域)

昼(7:00~19:00)	65 デシベル以下
朝(6:00~7:00)夕(19:00~22:00)	60 デシベル以下
夜(22:00~6:00)	55 デシベル以下

従業員の健康上も良くないことから、年1回設備付近で測定を行い抜本的な改善として設備投資も検討しながら応急対策として保護具の着用を徹底しています。

3. 原町工場概要

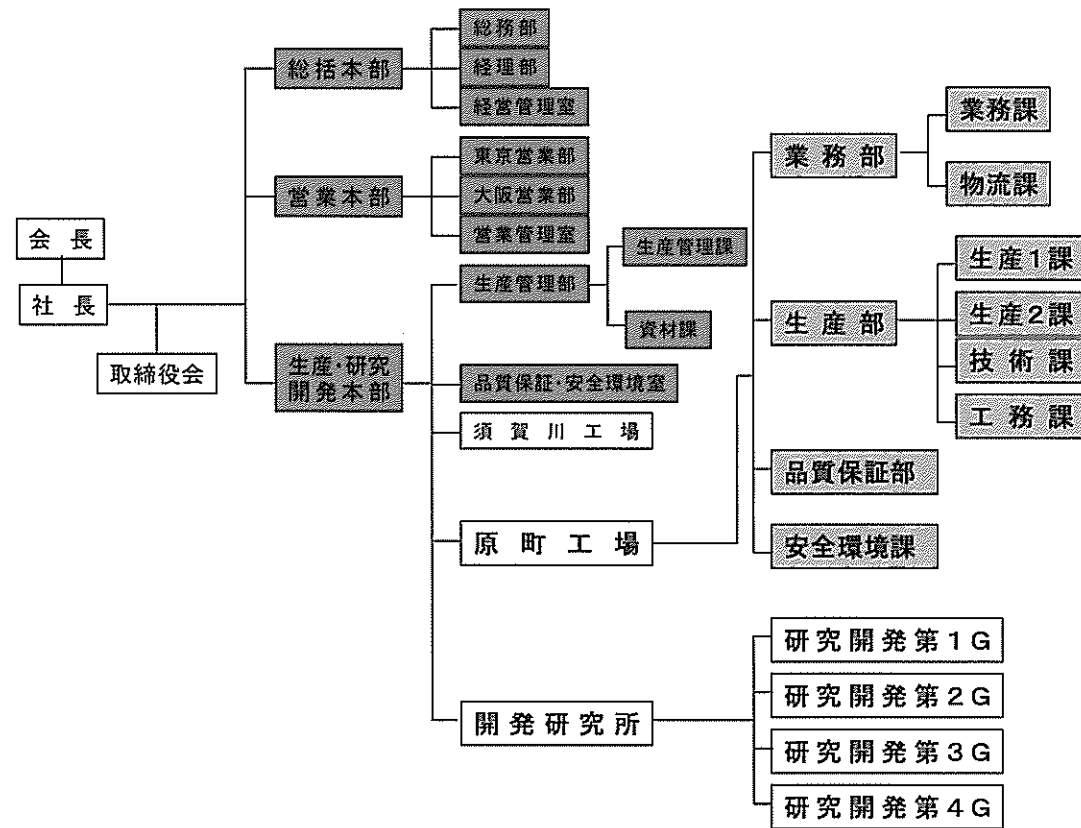
事業所名	大内新興化学工業株式会社 原町工場
所在地	福島県南相馬市原町区小浜字狐沢1番地
設立	1971年(昭和46年) 創業45年
従業員数	104名(男性99名、女性5名)
敷地面積	102,617 m ²
認証	ISO14001/2001年(平成13年) ISO9002/1999年(平成11年)
生産量	製品 6,628t 自工場消費分 22,253t (合計 28,787t)
販売量	6,534t/年
売上	2,268百万円/年



4. 大内新興化学工業(株)と原町工場の組織

本社 〒103-0024 東京都中央区日本橋小舟町7番4号
 資本金 1億1,500万円
 創業 1931年(昭和6年) 85年

須賀川工場 〒962-0806 福島県須賀川市下宿前111(開発研究所併設)
 関連会社についてはHPおよび会社パンフレットをご覧ください。

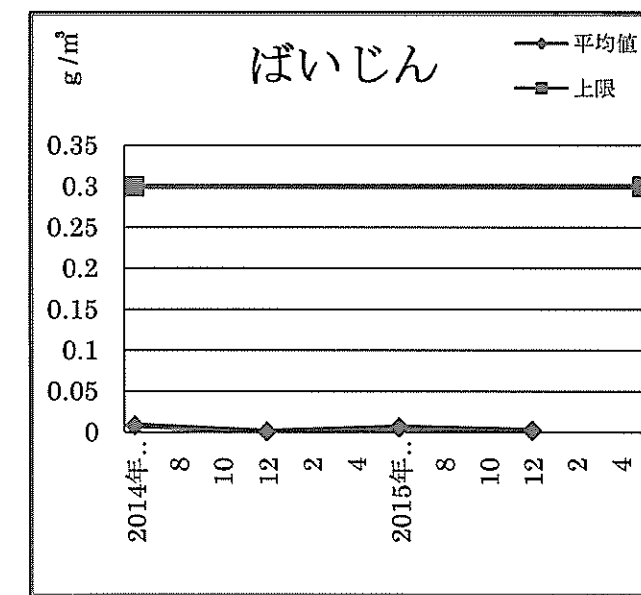
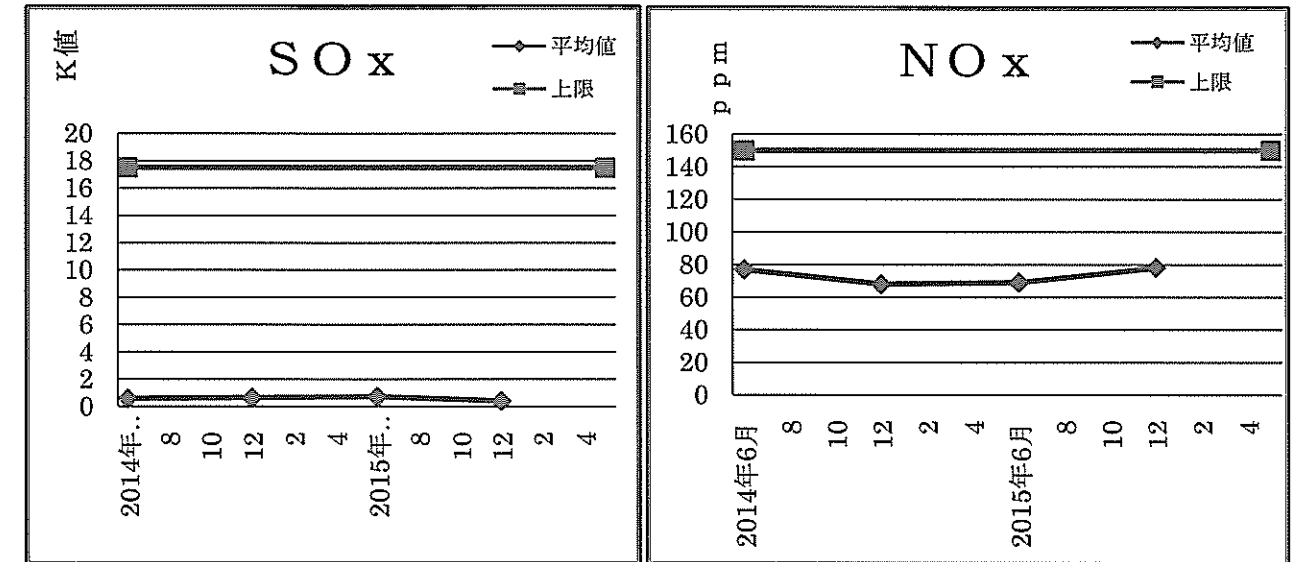


IT関係

- HP URL <http://www.jp-noc.jp>
- IBM Lotus Notes により社内外メールと全社の各種記録と実績、各委員会・会議体における情報の共有を行っています。
- IBM AS400にてToolsシステムを構築し給与・経理・販売・在庫管理・原価計算及び資産管理情報の全社共有を行っています。

9. 大気汚染防止

当社ではボイラーと廃液燃焼設備の計7基が大気汚染防止法規制対象設備となっています。排気ガスを洗浄する為ガスフィルターを設置し、24時間連続監視によって規制基準をクリアしています。現在、産業廃棄物処理施設である廃液燃焼設備は休止中となっています。

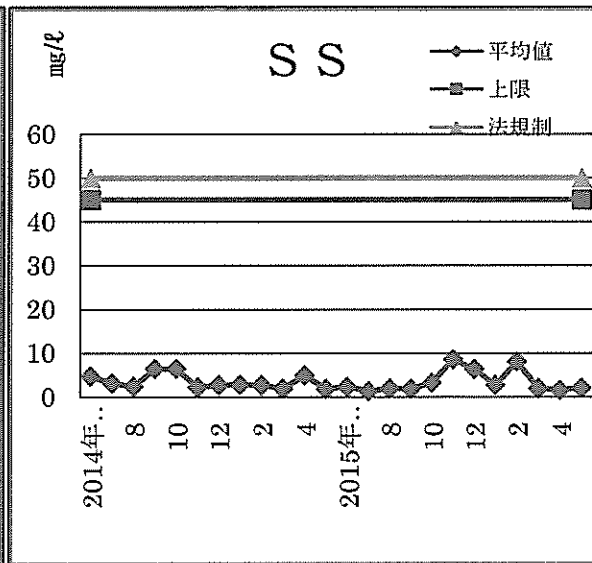
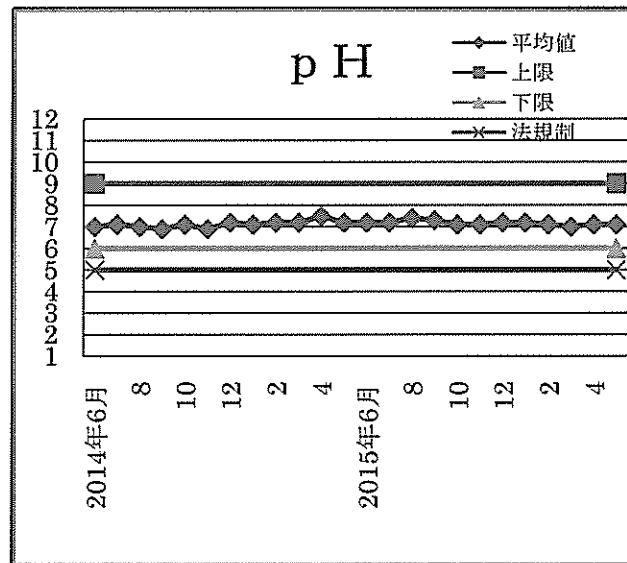
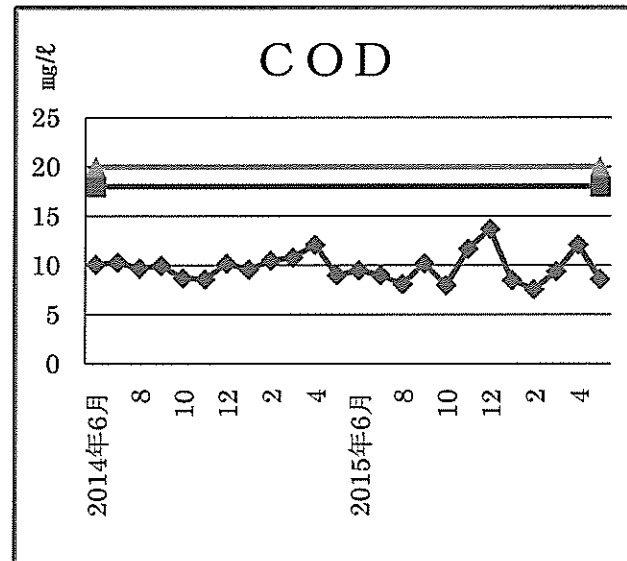


用語の説明

- SOx 大気汚染の原因物質であり、亜硫酸ガス(二酸化硫黄)などの総称。
- NOx 窒素酸化物は硫黄酸化物とならび酸性雨(酸性降下物)粒子状物質の原因物質
- ばいじん 物が燃えた際に発生・飛散する微細な物質のことを指します。

8. 水質汚濁防止

工場から発生した排水は廃水処理を経て公共用水域へ排出しています。水質は定期的な分析、測定監視を行い厳しい自主規制値を設け、法令及び公害防止協定の規制値を順守しています。



※場内トイレについては一部浄化槽を除いて廃水処理場に放流され再処理されています。業者(相双衛生センター)により浄化槽法上の清掃・点検を定期的に行っています。

用語の説明

pH pH7.0が中性でこれより低いほうが酸性、高い方がアルカリ性となります。

COD CODの値が大きいほど水中の有機物が多いことを示し、水質汚濁の程度も大きくなる傾向がある。

SS 浮遊物質(水中を浮遊している物質)または懸濁物質(濁りの原因物質)という。水を濁している不溶性の物質で、この値が高いほど、水の濁りが高いことになる。

5. 災害・事故

15-16年度につきましては火災・爆発事故はございませんでした。

労災事故等 車輛・交通事故 2件、人身事故 4件(休業2件、不休業2件)

7/16 外部業者による事故 ユニック車のブームを上がっている状態で移動したため、架空の既設配管に接触し、配管を変形させてしまった。

8/26 通勤災害 北原岩見堀子付近十字路交差点においての通勤途中のもらい事故が発生

9/22 休業災害 乾燥設備の非定常作業時に左足脛部裂傷事故が発生

2/17 不休業災害 電工ナイフでエア用ナイロンチューブを切断しようとした際、左手人差し指の指先を裂傷した。保護具(革手袋)を着用していたが貫通した。

2/18 休業災害 手から蓋が滑り落ちて右足の親指付け根の部分にあたった。安全靴ではあったが、補強コーンの途切れた部分であった。

3/5 不休業災害 液送配管が外れ再生M液が飛散し、作業者の顔面へ飛沫した

2月以降事故が多発したことから工場長から非常事態宣言が出されました。

6. 安全衛生管理、環境管理体制

産業医	大平 広道(南相馬市立総合病院 医師)
安全管理者	志賀 敏文(取締役工場長兼生産部長)
衛生管理者	佐藤 丈倫(業務部長)
防火管理者	山本 善男(生産部次長)
水質関係公害防止管理者	中川 将史(生産部生産一課長)
大気関係公害防止管理者	村岡 洋平(生産部生産二課長)
安全運転管理者	佐藤 丈倫(業務部長)

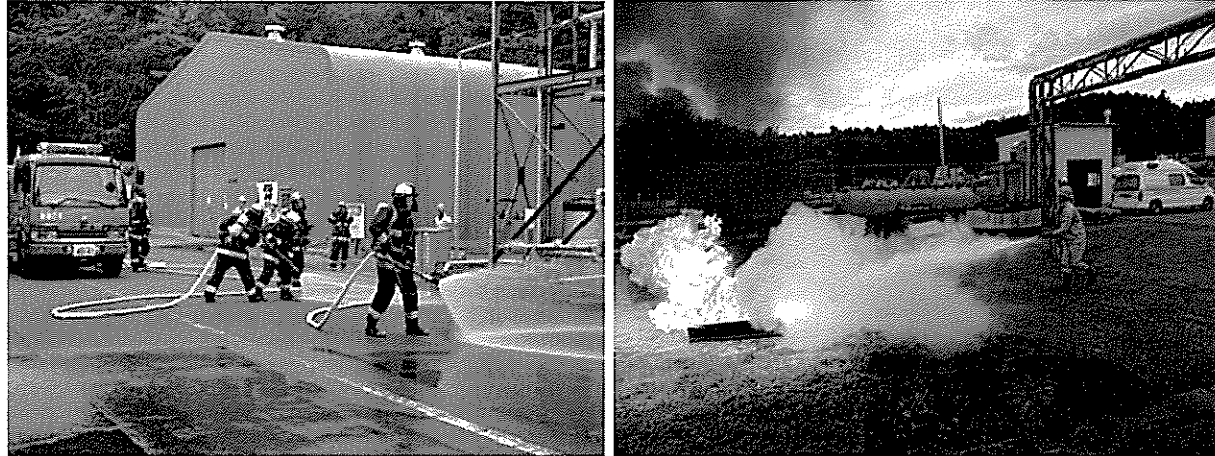
・毎月1回安全衛生委員会を開催し月毎の重点項目について実施状況を報告し未達部署には改善指示が出されます。

・安全衛生活動として停電・漏洩・災害・原発事故訓練及び危険予知訓練と安全・防火設備の点検を定期的に行っています。

・緊急連絡網を構築し緊急事態時に対応しています。

・大震災時の安否確認対策として ALSOK 安否確認サービスを利用しています。

・南相馬市消防本部と合同の総合防災訓練を年1回実施(11/9 実施)



・資格

関連法規	資格・免許の種類	延べ人数
消防法	危険物取扱者	257
	防火管理者	8
高圧ガス保安法	高圧ガス製造保安責任者	26
	冷凍機取扱者	0
環境基本法	公害防止管理者	12
エネルギー法	エネルギー管理士	2
安全衛生法	作業環境測定士	1
	衛生管理者	6
	ボイラー取扱者	24
	ボイラー整備士	5
	特定化学物質作業主任者	16
	有機溶剤作業主任者	28
	乾燥設備作業主任者	32
	酸欠危険作業主任者	45
足場組立作業主任者	6	

2016年5月現在(6件/1人当)

関連法規	資格・免許の種類	延べ人数
	フォークリフト運転技能	81
	車両系建設運転機械技能	1
	玉掛技能	43
	高所作業車運転技能	8
	ガス溶接作業主任者	2
	ガス溶接技能	32
廃掃法	廃棄物処理施設技術管理者	6
電気事業法	電気主任技術者	2
	電気工事士	5
工業標準化法	品質管理推進責任者	7
	合計	655

7. 化学物質

PRTR法(特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律)で化学物質の移動量の管理把握が義務付けられています。

2015年度 届け出物質 17物質 (単位:kg ダイオキシンを除く)

物質名	取扱量	排出量	移動量
亜鉛の水溶性化合物	1,154	0	0
アニリン	2,078,381	45	2,600
エチルベンゼン	12,185	150	4,300
キシレン	12,185	150	4,300
シクロヘキシルアミン	606,013	2,700	0
N,N-ジシクロヘキシルアミン	364,016	0	0
N,N-ジシクロヘキシル-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミド	773,763	0	4,100
ジフェニルアミン	11,957	0	0
ダイオキシン類	0	0	0
1,2,4-トリメチルベンゼン	2,356	0	0
三硫化炭素	1,735,269	0	0
ピロカテコール	2,304	0	0
ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル	6,904	69	0
メチルナフタレン	28,254	140	0
2-メルカプトベンゾアゾール	406,908	0	86,000
2-(モルホリノジチオ)ベンゾチアゾール	79,604	0	0
モルホリン	5,214	0	0

人の健康を損なうおそれ又は動植物の生息・生育に支障を及ぼすおそれがある化学物質による環境の汚染を防止することを目的とする「化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律」(化審法)によりノクセラ-DZ(N,N-ジシクロヘキシル-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミド)が監視対象物質となっています。製造、排水・廃棄において漏出を防止する為の措置が取られ環境中への漏出を定期調査しています。また、輸送業者へは年1回周知活動を行い、販売先でも同等の管理監視を行っています。

